

平成27年度第1回 横浜市立病院等安全管理者会議

日時:平成27年7月17日(金)

場所:横浜市技能文化会館

〈はじめに〉

今年度第1回は、医療法の改正に伴い本年10月から医療事故調査制度が施行されることを受け、「新たな医療事故調査制度について」をテーマに、講演会とシンポジウムを行いました。



アンケート回収数
169 名

アンケート回収病院数
64 病院

講演会

まずは浜松医科大学医学部法学教授の大磯義一郎先生から、「医療事故調査制度の概要と各病院における準備」と題した講演を行っていただきました。具体的な医療事故報道を複数取り上げ、その事例から推察できる問題点や当時の対応について言及されました。

また、新制度の導入にあたっては、医療従事者が「利益相反」の構図を認識した上で、対応すべきというお話がありました。

医療安全を推進し、患者さんはもちろんのこと、医療従事者を守りたいという熱い気持ちが伝わりました。



(講演の内容に関しては、資料をご参照ください)

シンポジウム

休憩をはさんで、「医療事故調査制度の施行に向けた準備」のシンポジウムに移りました。

横浜市立大学附属市民総合医療センター准教授・安全管理指導者の寺崎仁先生、医療法人五星会菊名記念病院医療安全管理室室長の新村 美佐香先生、横浜市立みなと赤十字病院 副看護部長兼医療安全推進課長の三上 久美子先生の3名から、初めにシンポジストとして小講義がありました。

寺崎先生からは制度開始にあたっての院内の対応フローチャートを中心に説明がありました。

新村先生からは自院の現状報告があり、三上先生からは自院のカンファレンスや今後の課題についてお話がありました。

(講演の内容に関しては、資料をご参照ください)



続いて前段の大磯義一郎先生をコメンテーターに加え、4名の先生方に登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。
「精神科単科の病院ではどのような準備をしたらよいか?」「コメディカル職員としては現状何ができるか?」等々参加者から実務に即した質問があがり、活発な議論が行われました。

最後に...

170名を超える大変多くの参加があり、本テーマに対して多くの病院勤務者の関心があることを再認識しました。

(医療安全課:北川 記)

平成27年度第1回 横浜市立病院等安全管理者会議
講演会・シンポジウム「新たな医療事故調査制度について」参加アンケート集計

問1 病院名を教えてください。 64病院
169名の回答をいただきました。

問2 職種についておたずねします。

	%
1. 医師	7.7%
2. 看護師	47.9%
3. 診療放射線技師	3.0%
4. 臨床検査技師	2.4%
5. 臨床工学技士	3.6%
6. 事務職	23.7%
7. 薬剤師	7.7%
8. その他	4.1%

問3 病院での役割を教えてください(複数回答可)

1. 医療安全管理者(専従)	13.0%
2. 医療安全管理者(兼任)	21.3%
3. 所属部署のリスクマネージャー(医療安全推進者)	23.7%
4. 医薬品安全管理責任者	3.6%
5. 医療機器安全管理責任者	3.0%
6. 上記にあてはまらない	40.2%
7. 無回答	1.2%

問4 以前にも横浜市立病院等安全管理者会議に参加したことがありますか。

1. ある	44.4%
2. ない	55.6%

問5 講演の内容はいかがでしたでしょうか。

1. 満足した	60.9%
2. やや満足した	33.7%
3. やや満足しなかった	1.8%
4. 満足しなかった	1.8%
5. 無回答	1.8%

問6 シンポジウムの内容はいかがでしたでしょうか。

1. 満足した	45.0%
2. やや満足した	47.3%
3. やや満足しなかった	1.8%
4. 満足しなかった	0.0%
5. 無回答	5.9%

問7. 本日の講演・シンポジウムは、貴院の医療事故調査制度の準備をされるにあたって、ご参考になりましたか。

1. 参考になった	63.9%
2. やや参考になった	33.1%
3. やや参考にならなかった	0.6%
4. 参考にならなかった	0.0%
5. 無回答	2.4%

問8. 貴院では、医療事故調査制度の準備はどの程度行っていますか。
行っているものすべてに丸をつけてください。

(複数回答可)	%
1. マニュアルやフローチャートの準備	26.0%
2. 制度に関する院内勉強会・会議	8.3%
3. 担当者の外部研修への派遣(本日を含まない)	35.5%
4. 病院弁護士や外部有識者への相談	5.3%
5. その他	4.1%
6. まだ始めていない	41.4%
7. 無回答	5.3%

作成:健康福祉局医療安全課